

海外安全対策情報

【2020年4月～6月】

当地に居住する在留邦人の皆様及び旅行や出張等で当地を訪れる短期滞在者の皆様が、当地で安全にお過ごしいただくため、ご注意頂きたい事件・事故情報などについて、以下のとおり取りまとめましたので、皆様の安全対策の参考にしてください。

1. 治安概況

山東省の治安は比較的良好とされていますが、各種犯罪は日常的に発生しており、時には凶悪犯罪と呼ばれる類の事件も発生しています。また、新型コロナウイルスのため倒産・失業者が増え、それに伴い犯罪も増加しているとの風評もあります。

当地での犯罪の態様には、飲酒や交通マナーに伴う揉め事が多発傾向にあり、些細なことからケンカとなり傷害事件に発展するケースも報道されています。さらに、投資話や恋愛関係にだまされ振り込んだ金が返ってこない詐欺、電信ネット詐欺、ネズミ講詐欺などの知能犯犯罪、麻薬などの違法薬物犯罪が後を絶たない状況にあります。

当地では、飲酒運転に対する取締りが強化されており、自分が飲酒後運転しないことはもちろん、飲酒者が運転する車両にも同乗しない、飲酒者に自己所有の車両を運転させないように気をつけなければなりません。また、売春などの性的サービスも禁止されており、買春側も取締りの対象になります。

2. 防犯対策

当地では過去に、邦人がスリ、置き引きの窃盗被害に遭う事案や、夜間盛り場などでトラブルに巻き込まれる事案が発生しています。このような状況の中、次のような点にご注意し、犯罪に巻き込まれないようにしてください。

- (1) 外出の際は、周囲の状況に注意し、異変を察知した場合はその場を立ち去る。
- (2) 必要以上に目立つ華美な服装や行為、発言等は避ける。
- (3) 深夜の外出や夜間薄暗く人通りの少ない場所での移動を避ける。
- (4) 見知らぬ相手からの安易な誘い・要求には応じない。
- (5) 安易な気持ちで違法薬物の受取・使用はしない。
- (6) 不特定多数の人が集まる場所では、手荷物や貴重品の管理には細心の注意を払う。

3. 事件・事故報道

(1) 暴行・脅迫（済南市、青島市）

ア 脅迫（済南市）

済南市の住民は、4月にネットで購入したものが1週間後に10元値下げしていたことから、カスタマーサービスに電話して差額の返金を求めた。その際、対応した男店員と口論となり、男は客の住所、電話番号を調べて「済南へ行って殺してやる」と脅した上、実際にその日のうちに杭州から済南行き的高速鉄道に乗り、客に対して「家にいろ」と電話していた。通報を受けた警察が、翌日午前2

海外安全対策情報

時に済南のホテルにいた男を検挙した。男によれば、客の自宅に行き外をうろろろしていたとのことで、行政拘留処分を受けた。

イ 高所からの投げ捨て（済南市、青島市）

（ア）6月2日、済南市の某マンション玄関のガラス製庇の上に包丁があるのを管理人が見つけた。包丁がある部分の庇は割れており、包丁はマンションの上から落とされたものであると考えられ警察に通報した。現在、警察が調査中である。

（イ）6月7日、青島市嶗山区の某マンション玄関近くの通路に上から植木鉢が落ちてきた。同所には度々、ゴミ袋やクッション等が落ちてきていることから、警察に通報され、警察が調査中である。

2018年には、青島市市北区のマンションで、憂さを晴らすためにマンション玄関にあったレンガを7階と8階の踊り場の窓から投げ捨て、下の通行人に当たり通行人を殺してしまった男に対して懲役15年の判決が下された。

（2）窃盗（青島市、萊西市、膠州市、済南市）

ア 連続窃盗（青島市）

3月以来、青島市黄島区では盗難被害が多発していたことから、3月20日、警察が張り込みをしていたところ、容疑者を発見し検挙した。容疑者によれば、窃盗の罪で刑務所に入獄していたが、2月22日に刑務所を出所後すぐに「復業」し、3月9日から6件の窃盗を行い、現金、ネックレス、電動自転車などを盗んで1万元位の財物を得ていたとのこと。

イ 苗木盗難（萊西市）

3月31日、萊西市公安局に街道沿いに植えていた国家2級保護植物であるヒトツバタゴの苗木が盗まれたとの通報があった。被害者は、前日街道沿いに植えていた苗木を掘り出し、他の場所に植え直そうと考え掘り出したままにしていたところ、翌日作業に赴いた時には一部の苗木がなくなっていた。公安局が付近の村を捜索し、牧草場に置いてある苗木を発見、牧草場の主人を追及したところ、外出した際、苗木が掘り返されて置いてあったので、薪に使おうと思って持ち帰ったと認めたことから、行政拘留10日間に処せられた。

ウ 車両盗難（膠州市）

4月1日、膠州市内に駐めていた電動二輪車が盗まれたとの通報があった。膠州市公安局が付近の監視カメラを確認したところ、派出所の警察官がよく知っているこれまでに3回窃盗で捕まったことのある男の犯行であると判明したことから、同男の住居を割り出し、翌日検挙した。同男によれば、金が無く困っていたところ、路上に鍵が付いたままの電動二輪車を見つけたことから、盗んで150円で売り払ったとのこと。同男は、これまでに3回窃盗で捕まったことがあった。

エ 車上ねらい（青島市）

海外安全対策情報

2月から青島市市南区高雄路、龍江路で車上ねらいが多発したことから、市南公安分局が捜査したところ、犯行が午前2時から3時に集中し、犯行後決まった場所へ戻っていることが判明した。4月3日同場所で張り込みをし、午前2時ころに犯行を終え戻ってきた容疑者を検挙した。容疑者は、仕事も収入もあり、金品目的ではなく刺激を求めて犯行を繰り返し、2月以降、市南区、西海岸新区において7件の犯行を行い1万元強を得ていた。

オ 窃盗（萊西市）

5月2日、萊西市の市場の店舗外に干してあった下着2着がなくなっているのに店員が気が付いた。また、近くのスーパー外に置いてあったウォーターサーバーもなくなっていた。警察が付近の監視カメラ映像を確認したところ、4年前にもハム1箱を盗んで検挙されていた男の犯行であると判明、検挙した。男は、運送会社の社長であり、日頃のストレスで不眠症となり、深夜に電動バイクで出掛け、盗みをして憂さを晴らしていた。

カ 侵入盗（青島市）

青島市の女性は、引っ越してから自分の部屋の物がひっくり返されるなど誰かが侵入した形跡があったことから、部屋の中に監視カメラを仕掛けた。5月、監視カメラの映像に人影が映っていたことから警察に通報、警察が確認したところ、向かいの部屋の住人であることが判明した。男は、試しに自分の部屋の鍵で向かいの部屋の鍵が開くか試したところ、鍵が開いたのでこれまでに4回女性宅に侵入し2000元余りを盗んでいた。

キ 共謀窃盗（済南市）

4月、済南市の男性は、600万円の価値があるという隕石と6個の磁器を3万円で購入し、鑑定してもらうために友人と車で北京に向かった。途中、済南市で友人と食事をとっていた隙に、車の窓ガラスを割られ、車内においてあった隕石と磁器を盗まれた。5月27日、警察は被害者と北京に向かった友人が仲間と共謀して盗んだことを突き止め検挙、隕石のみを押収した。後日、鑑定の結果、同隕石は「隕石」ではなく1万円の価値がある蛇紋石であることがわかった。

ク 電子計算機使用窃盗（青島市）

5月末、青島市に住む女性は、銀行口座から26万元が減っており、金が28回に分けて見知らぬ支付宝口座に振り込まれていることに気が付いた。女性は出張に行く際、子供の面倒を従兄弟に見てもらっていたが、その際いつも携帯電話の支付宝に異常が出たことを思い出した。従兄弟と一緒に派出所に行ったところ、従兄弟はネット賭博にはまり金がなかったことから、女性の振込パスワードが子供の誕生日であることを知り、女性の家に行くたびに女性の携帯電話からネット賭博の支付宝口座に金を振り込んでいたことを認めた。

ケ 窃盗（青島市）

海外安全対策情報

5月29日、トレーラーを路上に駐めておき、取りに戻ったところトレーラーがなくなったとの通報があった。警察の捜査により、当該トレーラーはリサイクル業者に8500円で売り払われていることが判明、売却に来た男を検挙した。同男は、5月17日にも他人の砂洗浄設備を売却し9300元を得ていたことが判明した。

コ 拾得物横領（済南市）

4月、済南市公安局は、拾った身分証を悪用して中古車登録を行っていた中古車業者3名を検挙した。2019年10月、某女性が車検登録を行ったところ、係員から女性名義で17台が登録されていると言われたが、女性は1台しか登録した覚えがなかったことから警察に通報した。警察が捜査したところ、女性は2018年に身分証を紛失したが届出をしておらず、同身分証を拾った中古車業者が身分証を使って車両登録していたことが判明した。業者は、拾った身分証を使えば、買主が手続きに来る必要がなかったことから悪用していた。

(3) 詐欺（胶州市、青島市、済南市）

ア ネット詐欺阻止（胶州市）

3月25日、胶州市の住民がサービスセンターを名乗る者から、「先日ネット購入した物の返金がある」との電話を受けた。同住民は、それを真に受け言われるがままに銀行カード番号、携帯二次認証番号、暗証番号を伝えていた。その時、胶州刑事警察大隊反詐欺センターの予防警報を受けた胶州警察が同住民のところへ赴き、住民が3万元を相手に振り込む寸前で振り込みを阻止することができた。

イ 寸借詐欺（青島市）

4月9日、青島市市北公安分局は環境衛生会社の社長と詐って清掃員から金を騙し取った男を検挙した。同男は、3月22日、清掃員が清掃していたところに現れ、清掃員の仕事ぶりを褒め、会社で表彰すると持ちかけて信用させた後、仕事で急に8000元が必要になった、仕事が終わったらすぐに返すと騙して、銀行に一緒に赴き清掃員が下ろした8000元を受け取り立ち去っていた。男は金を騙し取った後、青島を離れ雲南省へ遊びに行き、青島に戻ったところで捕まった。

ウ 詐欺（済南市）

4月15日、男が済南市の洋服店で900元の買い物をして支付宝で支払いをしようとしたが、残高が無かったことから、店員に対して「近くの職場から金を持ってくる」と自分の社会保険カードを写真に撮らせた後、服を持って立ち去った。2時間経っても男が来店しなかったことから店員が通報し警察が調べたところ、男が提示した社会保険カードは本人のものであることが判明、ホテルにいた男を発見検挙した。男は同様の犯罪歴が3件あり、翌日済南駅から電車に乗って逃亡するつもりであった。

海外安全対策情報

(4) 違法薬物取締り（青島市）

3月17日、青島市公安局は、違法薬物を入手しミャンマー国境地域から青島市へ宅急便で送ったグループを検挙した。同グループは、ネット上で雲南省のミャンマー国境地域の薬物売人から違法薬物60gを入手し、薬物をハイヒールのかかどに隠して雲南省から青島市へ宅急便で送る手配もネット上で行った。宅急便が青島市に着き、グループが宅急便を受け取りに来たところで公安局に検挙され、薬物も押収された。

(5) 通貨偽造（青島市）

3月24日、青島市即墨区検察院は通貨偽造罪で被疑者を起訴した。被疑者は2019年4月、ネット金融の借金やクレジットカードの支払いに困り、通貨偽造し金を得ることを思い付き、ネットで仮名を使って偽造通貨を作製する設備や材料を入手した。しかし、入手した物では仕上がりが良くなかったことから、ソフトの改良を繰り返して精巧な20元札を作製することができるようになり、商店などで使用した。2019年11月、被疑者は公安機関の捜索を受け、自宅から2306枚の偽造20元札が押収された。通貨偽造罪は重罪であり、法定刑は10年以上の有期懲役である。

(6) 公務執行妨害（青島市）

6月2日、青島市交通運輸執法員が青島北駅東広場駅前道路で営業許可証のない不法営業タクシーの取締りを行っていた。一台のワゴン車が客を降ろしていたことから、取締りをしようとしてワゴン車に近づいたところ、運転手が急に車内に戻り車を発進させた。執法員は停止させようとしたが、ワゴン車は更に加速したため、執法員一名を跳ね、もう一名も轢いて現場から逃走した。運転手は、怖くなりその日のうちに警察に出頭した。

(7) 模造銃所持（青島市）

近日、黄島区法院は、模造銃を保有していた大学生に対して懲役3年の判決を下した。同大学生は、2017年からネットで銃の部品を入手し自分で組み立て、大学の寮に12丁の模造中を隠し持ち、同級生と寮のベランダから向かいの寮の壁や窓を標的にして撃っていた。ある日、同級生が窓ガラスを割ってしまったことから、警察による捜査で、同大学生が銃を隠し持っていたことが明るみに出て、銃が押収された。鑑定の結果、12丁の模造銃のうち8丁が「公安機関銃弾薬性能鑑定規定」に定める違法銃の能力を持っていることが判明したことから、起訴され今般判決が下された。

(8) デマ流布取締り（青島市、膠州市）

ア デマ作成流布（青島市）

近日、ネット上に「市北区の某マンションコミュニティで新たに4例の国外からの輸入新型コロナウイルス病気が確認された」とのデマが流布された。青島警察は、デマを作成流布した男を特定し、虚偽情報作成罪で刑事拘留処分にしたとともに、デマを流布した者に対して批判教育を行った。

海外安全対策情報

イ デマ流布（胶州市）

4月7日、胶州市で新型コロナウイルス感染者2名が確認されたことに関連して、翌8日ネット上に「胶州で感染者2名、濃厚接触者21375名、医学観察を受けている者918名…」等と書かれた文章の写真が出回った。胶州市公安局が捜査したところ、当該写真は、某会社でネット上の事実でない情報をまとめた文章を印刷し机の上に置いてあったものを、従業員が写真に撮り、事実で無いと知っておきながらネット上に流布させたものであることが判明した。当該従業員は、治安管理処罰法第25条の規定により、デマを流布させ公共秩序を乱したとのことで治安拘留に処せられた。

(9) 個人情報流布（胶州市）

4月13日、WeChatのモーメンツに胶州中心医院の出入者6000名の氏名、住所、連絡方法、身分証番号などの個人情報が流出した。胶州市公安局が捜査したところ、某男が仕事で入手した出入者名簿を所属する会社のグループチャットに載せ、同グループチャットにいた別の男が家族に送り、その家族が他に流布していたことが判明、また、別の女が仕事で入手した出入者名簿を家族に送り、その家族が他に流布していたことも判明した。上記3名の行為は、個人情報保護を毀損したことで行政拘留処分に処せられた。

(10) ドリフト走行（青島市）

4月6日、青島市内の道路でドリフト走行する映像がネット上に流れた。交通警察部門がネット上の映像を解析したところ、ドリフトした車両のナンバーを割り出し、当該車両が某ディーラーにあることを突き止めた。車両の所有者によれば、友人に貸したとのことであり、監視カメラの映像と比較したところ、当該友人が運転手であることが判明した。運転手は900元の罰金と14点減点の処分を受けた。

(11) ひき逃げ（莱西市）

5月4日、莱西市の路上で男性が死んでいるとの通報を受けた警察が調べたところ、男性は車両にひき逃げされて死亡したことが判明した。警察が前日3日に同所を通った車両50台を調べ、そのうち1台の赤色車両に異常があったため車両の所有者から事情を聞いたところ、ひき逃げしたことを認め検挙した。

(12) 偽造ナンバープレート取付（青島市）

6月1日、青島市市北交通警察大隊到北京の住民から「青島へ行ったことがないのに、車両に青島での違反歴がある」との電話があった。交通警察が調べたところ、当該車両のナンバーには5月25日に青島市内で禁止標識違反の交通違反歴があり、ナンバーが一致していたことから、北京の女性の車両ナンバーをコピーして取り付けられたことが判明した。同日、市北区にいた偽造ナンバーを取り付けた車両と運転手の女を検挙した。

(13) 野生動物売買 (青島市)

5月26日青島市中級人民法院は、野生センザンコウを購入したホテル経営者夫婦に対して、野生動物保護民事公益訴訟の判決を下した。夫婦は、2018年に経営しているホテルで提供する食材として国家2級重点保護野生動物であるセンザンコウ4匹を購入したことで、2019年に貴重絶滅危惧野生動物不法売買罪で執行猶予付き懲役刑を下されており、今回、「野生動物及び同製品評価方法」(国家林業令)に基づき、センザンコウ1匹当たり4万元、合計16万元の罰金と国家級メディアにおける公開謝罪を命じられた。

4. 治安対策等報道

(1) 野生動物資源保護 (徳州市)

山東省検察院では、新型コロナウイルス発生以来、野生動物資源保護領域、食品薬品安全領域に対する取締りを積極的に取り組んでいる。先日、徳州市の楽陵市検察院は4300匹の中華ヒキガエルと4匹の殿様蛙を違法に狩猟、購入した男を起訴した。2月3日以降、山東省検察機関では、47件の野生動物資源保護関係事案に取り組み、既に32件を立件している。

(2) 飲酒運転取締り統計 (青島市)

2019年5月からの1年間で青島市交通警察が検挙した酒気帯び運転は18262件、酒酔い運転は3909件であった。2011年5月の「飲酒運転刑罰化」以来、青島市で取り締まられた飲酒運転は合計83850件(酒気帯び74575件(89%)、酒酔い9275件(11%))であり、2016年は酒気帯び13518件、酒酔い1751件、2017年は酒気帯び6640件、酒酔い1080件、2018年は20186件、酒酔い3254件であった。

(3) 詐欺被害口座凍結等統計 (青島市)

青島市反詐欺センターが2019年から青島市全域で緊急停止した犯罪に関わる支払い額は4500口座、8600万元、凍結した犯罪に関わる口座資金は9900口座、2.9億元であった。青島市では、詐欺被害者が警察に通報すると反詐欺センターに転送され詐欺態様を聞き取ると共に、公安部支払い停止プラットフォームが調査し支払いを停止するなどして、被害者の被害防止や被害額減少を図っている。

(4) 経済犯罪取締り統計 (青島市)

青島市公安局が2019年から取り締まった違法資金収集やマルチ商法等の大衆型経済犯罪は1035件、検挙した容疑者は1644名、被害額は27.53億元であった。青島市公安局では、従来型の大衆型経済犯罪に加え、知的財産権侵害、違法経営、虚偽広告などの防疫関連経済犯罪の取締りも強力に推し進めている。

(5) 法院裁判統計 (青島市)

青島中級人民法院の発表によれば、2019年に青島市内で審理・判決が出された裁判は24万9155件で前年比31.7%増加した。刑事裁判で判決が下されたのは、故意

殺人、強盗、強姦などの重大暴力犯罪が 328 件、違法薬物犯罪が 569 件 664 名であった。また、「認罪認罰従寛制度」を適用して結審したのが 6533 件あり、これは同時期の一審刑事案件の 68.6%を占めている。また、72%の案件が 15 日以内に結審し、99%が判決を受け入れ上訴していない。

(6) 未成年審理統計（青島市）

5 月 29 日、青島市中級人民法院の発表によれば、最近 3 年間で青島市法院が審理した未成年に関わる裁判は 31929 件であった。その内 31408 件が婚姻関係、扶養、面会などの家庭内案件であり、その他 521 件が未成年犯罪、未成年を被害者とする犯罪であった。未成年に対する性犯罪の 65%が知り合いによる犯行であり、ネットを介して知り合い犯行に至ったのが 30%であった。

(了)